

## 平成27年度 五霞町社会福祉協議会事業報告

### [法人運営事業拠点]

事業計画に基づき、五霞町地域福祉活動計画及び地域福祉計画の共通の理念である「大きな絆があるまち五霞」の達成に向け、また地域福祉活動計画の「ともに助け合い、支え合いながら安心して暮らせるまちをつくろう！」のキャッチフレーズのもと、社会福祉協議会が行う様々な事業をとおして、町民の皆様と関係団体とともに連携して地域福祉活動に取り組む。

また、関東・東北豪雨により甚大な被害を受けた常総市社会福祉協議会への職員派遣に際しては迅速に対応し、災害復興に向けて職員一丸となり、災害ボランティアセンター運営の役割を担うとともに、社会福祉協議会の職員としての役割を果たした。

### [法人運営事業拠点]

#### 1. 法人運営事業

##### (1) 会務の運営

各種事業が円滑に遂行できるよう、法人を支える事業としての役割を担うことに努めた。

マイナンバー法施行を受け、特定個人情報に係る規程を始め、各種規程や規則の見直しを行う。

#### ① 会員の状況

会員の種類	金額	会費収入	会員数	昨年度会員数	25年度会員数	24年度会員数	取りまとめ方法
一般会員	600 円	1,140,600 円	1,901	1,922	1,969	1,992	各世帯にお願いする
特別会員	2,000 円以上	118,000 円	59	64	45	76	社協役員等個人にお願いする
合計		1,258,600 円	1,960	1,986	2,014	2,068	

世帯数	3,213 世帯 (広報ごか5月号平成27年4月1日現在)		
一般会員の加入率	59.2%	(	1,901 / 3,213 )
※組合外での一般会員加入世帯	34 世帯	/	案内発送 399 世帯
(前年度)	35 世帯	/	案内発送 429 世帯

#### ② 会員サービス

「社協会員の呼びかけ」の広報媒体や社協役員会等にて、会員サービス事業をPRし、情報の提供を推進する。

会員サービスの種類	件数	前年度件数
新生児のオムツ配布	11 件	7 件
米寿のお祝い贈呈	14 件	11 件
福祉用具貸与		
車椅子の1ヵ月無料	福祉用具貸与事業 参照	
ベッド 介護用品支給	5 件 (新規利用者)	2 件 (新規利用者)

③ 広報啓発

各種広報紙・ホームページを通して、情報の提供を行なう。

(ア) 広報紙

名 称	発 行 月	発行回数	発行部数	主な配布先
社協だより	7月号・3月号	2回	1回 3,000部	全戸配布・組合外へ送付 町内公共施設
社協旬報	4.5月号・6.7月号・8.9月号・ 10.11月号・12.1月号・2.3月号	6回	1回 2,500部	全戸配布・組合外の会員へ送付 町内公共施設

(イ) ホームページの運営 URL: <http://www.goka-syakyu.or.jp/> (公式 facebook 運用開始)

アクセス数 累計 122,505 名 (前年度アクセス数 29,979 名) 平成18年3月 開設

訪問者数/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
25年度	3,128	3,225	3,115	2,824	3,282	3,335	3,432	2,683	1,973	2,315	1,310	2,149	32,771	2,731
26年度	2,539	2,671	2,717	2,700	2,852	3,122	3,503	2,273	2,033	2,410	1,264	1,895	29,979	2,498
27年度	921	599	420	346	358	326	377	322	279	443	349	386	5,126	427

※ページごとの集計。トップページのカウンターとは異なる。

平成27年度より別の集計方法となり、1度訪問したものはカウントしない方法となった。

今年度よりフェイスブックページを立ち上げ、災害ボランティア情報などを発信した。

④ 理事会・評議員会・監事会等開催状況

理事12名・監事2名・評議員25名

理事会 4回、評議員会 3回、監事会 2回 開催

実施期日	会議名	事業概要 (会議事項)	開催場所	出席者数
H27 4.1	理 事 会	・ 会長・副会長の選任について	福祉センター	12 書面決議1名
5.19	監 事 会	・ 平成26年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計、一般事業特別会計、公益事業会計収入支出決算の監査	福祉センター	2
5.26	理 事 会	・ 五霞町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について (1) ・ 五霞町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について (2) ・ 五霞町社協指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・ 五霞町社協指定居宅介護事業所運営規程の一部改正について ・ 五霞町社協指定通所介護事業所運営規程の一部改正について ・ 五霞町社協指定介護予防事業所運営規程の一部改正について (1)	福祉センター	13 理事9 書面決議3名 監事1

		<ul style="list-style-type: none"> <li>五霞町社協指定介護予防事業所運営規程の一部改正について（2）</li> <li>平成26年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算の認定について</li> </ul>		
5.26	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算の承認について</li> </ul>	福祉センター	22 評議員21 監事1
9.3	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会収入支出補正予算の認定について</li> </ul>	福祉センター	12 書面決議2
9.4	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会収入支出補正予算の承認について</li> </ul>	福祉センター	19
11.21	監事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度社会福祉法人会計収入支出中間決算の監査</li> </ul>	福祉センター	2
H28 3.24	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人五霞町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正の認定について</li> <li>社会福祉法人五霞町社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の制定について</li> <li>社会福祉法人五霞町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について</li> <li>平成27年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会資金収支補正予算の認定について</li> <li>平成28年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算の認定について</li> </ul>	福祉センター	12 書面決議2
3.25	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会資金収支予算の承認について</li> <li>平成28年度社会福祉法人五霞町社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算の承認について</li> </ul>	福祉センター	20

⑤ 事務改善委員会

会議名	参加人数	回数	実施日		
事務改善委員会	職員9名	4	7月7日	8月4日	9月1日

主な内容

給与・人事体系関係  
業務（事業関係）

- 福祉センター運営・営業
- その他

- ⑥ ごかみずべ公園使用許可申請受付業務  
平成26年9月より、みずべ公園の使用許可申請受付窓口を行う。

申請状況 累計 307 件(団体) 7,670 名 平成26年9月より試行開始

場所	件数/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
植生広場	団体(件)	5	11	12	11	5	11	13	15	16	6	7	10	122	10
	人数(名)	61	141	181	257	70	112	232	247	200	112	107	148	1,868	156
多目的広場	団体(件)	6	10	5	4	2	9	10	7	3	3	2	10	71	6
	人数(名)	74	225	2,059	140	30	210	215	106	43	48	40	152	3,342	279
駐車場	団体(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	人数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	239	0	0	0	239	20
合計	団体(件)	11	21	17	15	7	20	23	22	20	9	9	20	194	16
	人数(名)	135	366	2,240	397	100	322	447	353	482	160	147	300	5,449	454

※同一日の同一団体の利用については、場所は一方のみの集計としています。

区分	件数/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
町内	団体(件)	7	16	12	15	7	19	23	21	19	8	7	19	173	14
	人数(名)	87	226	184	397	100	302	447	333	462	140	112	280	3,070	256
町外	団体(件)	4	5	5	0	0	1	0	1	1	1	2	1	21	2
	人数(名)	48	140	2,056	0	0	20	0	20	20	20	35	20	2,379	198
合計	団体(件)	11	21	17	15	7	20	23	22	20	9	9	20	194	16
	人数(名)	135	366	2,240	397	100	322	447	353	482	160	147	300	5,449	454

備考				柴又100K アールビーズ	ホテル観賞会 商工会										
----	--	--	--	------------------	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ⑦ 各種研修、会議等の状況 (法人運営事業職員の主な出席状況)  
県社協、県共募主催

共同募金支会新任事務局長・担当職員研修会  
在宅福祉サービスセンター茨城県連絡会  
社会福祉法人・施設一般検査に係る説明会  
市町村社会福祉協議会業務担当者会議  
社会福祉施設等新任職員研修

マイナンバー制度に関する研修会  
日常生活自立支援事業 生活支援員研修  
生活困窮者自立支援制度における研修会  
茨城県社会福祉大会  
ソーシャルインクルージョン研究会議

日常生活自立支援事業に係る新任職員専門員研修会  
 市町村社会福祉協議会新任・初級研修  
 ボランティア担当職員研修会  
 共同募金支会担当職員研究協議会  
 連携による災害支援活動を考えるフォーラム  
 生活福祉資金事業及び自立支援事業担当職員連携会議

社会福祉法人経営改善研修会  
 共同募金改正要項説明会、共同募金報告会  
 災害ボランティア研修  
 経理担当職員研修

県主催 市町村プレ協議体 体験フォーラム  
 公正採用人等 인권啓発研修会

職員連絡協議会

その他 雇用管理責任者講習会  
 在宅福祉サービスセンター茨城県連絡会コーディネーター研修会  
 五霞・境 人権教育研修会

(2) 社会福祉協議会事業・活動

① イベント・大会等の開催状況

名 称	開催日 (予定)	ボランティア参加人員	備 考
健康福祉まつり	9月20日 (日)	493	(会議開催状況は、健康福祉まつり事業参照)

② 各種活動

(ア) 入れ歯回収ボックスの状況

今年度回収	金 額	備 考
197 g 5,474 円	開始 (H19年11月) からの累計 141,594 円	福祉センター、役場へリサイクルボックスの設置 ・広報紙、ホームページ掲載、老人クラブ連合会等への呼びかけ活動

福祉センター・役場へ回収ボックスの設置。ある程度まとまってから回収。

(イ) ペットボトルキャップの回収活動  
エコキャップ受領書の内容

持ち込み日	回収個数
27年度 6.15	88,150 個 ( 205 Kg)
7.22	92,880 個 ( 216 Kg)
11.2	100,190 個 ( 233 Kg)
2.29	117,820 個 ( 274 Kg)
年度合計	399,040 個
累計 (21年度～)	2,471,630 個 ワクチン 2,874 人分 CO2削減 18,106.1 Kg

リサイクルボックス設置箇所

- ・21年度設置：福祉センター、役場、
- ・22年度設置：セントラル産業、東昌寺
- ・24年度設置：B&G海洋センター

1kg 430個として計算

860個でポリオワクチン1人分が購入できます  
1kg(430個)が焼却されると3.15kgのCO2が発生

→ 個数 ÷ 860  
→ 個数 ÷ 430 × 3.15

## 2. 共同募金配分事業

今年度も行政区長に募金委員としてご理解ご協力をいただき、各世帯にご協力をいただくことが出来た。  
また、各団体や職域募金・法人募金及び学校募金においてもご協力をいただくこと出来た。  
街頭募金においては、募金運営委委員やシニアクラブの会員も一緒に呼びかけを行った。  
今後も、募金の使途について、より一層の理解と協力を得られるよう努める。

共同募金	2,209,819 円 (27年度実績、県共募からの配分は28年度)		(単位：円)	
戸別募金	特別募金	217,000	学校募金	90,722
	一般募金	961,016	職域募金	330,224
街頭募金		28,943	イベント募金	12,728
法人募金		557,000	その他募金 (公共施設設置募金箱、こどもすこやか募金、預金利子)	12,186

歳末たすけあい募金	887,204 円		(単位：円)	
戸別募金		624,810	学校募金	16,995
小銭募金		125,399	職域募金	20,000
法人募金 (工業クラブ)		100,000		

毎年10月から12月の間に実施される共同募金、歳末たすけあい募金に寄せられた寄付金を社協活動で有効利用し、次のような事業を展開することにより地域福祉活動の充実強化に努めた。

(1) 老人福祉活動

- ・シニアクラブ連合会主催スポーツ大会やひばりヶ丘大学の活動援助
- ・シニアクラブによる友愛訪問活動 訪問件数 51件

① 訪問福祉美容

茨城県美容業生活衛生同業組合の協力を得て、年3回実施。

1回 2,500円(社協補助 1,000円)

実施日	27年度利用人数	26年度利用人数	25年度利用人数	24年度利用人数
平成 27年 7月	13名	7名	8名	4名
11月	8名	7名	8名	4名
平成 28年 2月	12名	7名	11名	7名
延べ人数	33名	21名	27名	15名

② 寝具類洗濯乾燥消毒サービス

利用状況 平成27年8月25日 実施 利用人数 13名 実施枚数 32枚  
平成28年3月8日 実施 利用人数 11名 実施枚数 29枚

③ ひとり暮らし高齢者等配食サービス

利用者の安否確認を兼ねながら、栄養バランスを整えた食事の提供を行っている。  
配達協力員(ボランティア)の増員を図る。

- ・配食利用登録者数 17名 配達協力会員数 4名

利用状況 (第2・4・水曜日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数(名)	11	12	13	14	11	12	12	11	12	13	13	14	148	12.333
配達日数(日)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
配達総数(食)	20	26	26	31	24	23	25	23	23	25	26	27	299	24.917

④ ひとり暮らし高齢者等給食サービス

- ・平成27年 3月4日開催 福祉センター内 喫茶ばかばか
- ・参加人数 16名
- ・見守り協力員として民生委員児童委員協議会から4名参加

⑤ひばりヶ丘大学

7月の入学式から3月まで10講座を開催。

学生数53名・出席延べ人数364名・延べ出席率68.7%

日付	学習内容	講師・研修場所等	日付	学習テーマ	講師・研修場所等
7.6	入学式(第1回) 五霞町の現状について	五霞町長 染谷森雄先生	11.25 ~26	研修旅行	千葉県九十九里訪問
8.5	「特殊詐欺へ対処するために」	境警察署 島田敏先生	12.15	地元の産業経済を学ぶ 麒麟ビール工場見学	取手市
9.7	目で見える社会 かりんとう工場の見学	古河市 ミヤト製菓	H28.1.20	認知症に関する講話	古河赤十字病院講師
9.29	地域の食文化を学ぶ うどんづくり体験	埼玉県加須市	2.8	新年会 カラオケ講座	ふれあいセンター
11.9	健康に関する講話 「百歳時代の健康管理」	倫理法人会 関口宇一	3.28	卒業式(第1回)	ふれあいセンター

(2) 障害者(児)福祉活動

- ・身体障害者福祉協議会並びに手をつなぐ父母の会の活動への助成及び健常者とのふれあい事業助成。

(3) 児童、青少年福祉活動

- ・子供会育成会並びに青少年相談員協議会の活動への助成。

(4) 福祉育成、援助活動

- ・ボランティア団体の育成援助
- ・民生委員児童委員協議会への活動支援
- ・心配ごと相談及び法律相談の開催
- ・法外援護費や災害見舞金の支給及び小口資金や行路人援護費用の貸付事業
- ・社協広報紙「社協だより」や「社協旬報」の発行
- ・AEDの窓口設置(福祉センター「ひばりの里」窓口)

(5) ボランティア活動育成事業

五霞町シニアクラブ会員により、民間伝承や清掃指導等の小学生へのボランティア活動を行うことにより、世代を超えた交流活動を持つことができた。

また、小学校の生活科学習のニーズに応えられるよう、小・中学生対象の体験学習・講座の開催により、ボランティアに対するの関心や意識の向上、またボランティアを提供する側の対処方法を少年期から学ぶことができた。

①清掃指導（東小学校全学年）	平成27年 6月 8日（月）	16名	シニアクラブ会員
②昔遊びの紹介（東小学校全学年）	平成27年10月31日（土）	10名	シニアクラブ会員
③昔遊びの紹介（東小学校1年生）	平成28年 2月 9日（火）	17名	シニアクラブ会員

(6) 歳末たすけあい募金配分事業

・各行政区の民生委員児童委員の調査・協力を頂き、町内の福祉対象者（支援を必要とする世帯、独居老人世帯、身体障害者等）へ歳末たすけあい見舞金の配分事業を実施。

歳末たすけあい配分見舞金 904,500 円				(単位：円)			
配分先	件数	1件当り配分額	合計	配分先	件数	1件当り配分額	合計
ひとり暮らし高齢者	45名	6,500	292,500	母子世帯	11名	6,500	71,500
ねたきり高齢者	10名	6,500	65,000	父子世帯	1世帯	6,500	6,500
認知症高齢者	5名	6,500	32,500	交通遺児	0世帯	6,500	0
高齢者世帯	1世帯	6,500	6,500	支援を必要とする世帯			
在宅重度心身障がい者	24名	6,500	156,000	世帯割	11世帯	10,000	110,000
在宅重度心身障がい児	0名	6,500	0	人員割	7名	2,000	14,000
支援を必要とする児童生徒	23名	5,000	115,000	長期入院患者	7名	5,000	35,000

募金実績との差額

(27年度共同募金会計より17,296円繰入)

### 3. 健康福祉まつり事業

### 4. 健康福祉まつり募金管理事業

初回到全体打合せ会議を実施。その後健康福祉まつり実行委員会を編成後、ステージ出し物や模擬店の内容を検討。例年会場となっていた公民館が改修工事の為、今年度はB&G海洋センターにて実施。具体的に、各参加団体による模擬店や各種コーナー、ステージ出し物を実施した。

これにより、ボランティア団体相互の交流、及び一般町民との交流を深め、町全体のボランティアへの意識の向上につながった。

- ・ 開催日 平成27年9月20日(日) 11:00 ~ 14:00
- ・ 参加団体 26団体
- ・ 場所 B&G海洋センター(中央公民館改修工事のため)

#### ・ 会議の開催状況

日付	会議名	主な協議事項
H27 7.10	ボランティア団体による 全体打ち合わせ会議	実行委員会の組織について 募金の使途について 開催要項について 参加団体の確認 開催日程について その他検討事項
8.25	実行委員会	当日の進行スケジュール ステージ出し物について 各コーナーの内容場所用意備品 各種確認事項(チラシ、ポスター等広報関係)
9.19	実行委員会	前日準備 (テント位置の確認作業)
9.20	開催当日	
10.28	反省会	募金等の報告について 反省点について 材料費の支払いについて

- ・ 募金額 388,938 円 災害義援金 13,640 円 (計 402,578 円)

#### 募金の使いみち

反省会にて、100,000円を災害義援金として寄付を行った。

## 5. 心配ごと相談事業

町民から家族・苦情に関する相談があり、相談員の人生経験や社会経験により適切なアドバイスを送ることができた。

また、今年度の法律相談においては、財産・相続に関する相談が多く見受けられ、弁護士の豊富な知識によりの確なアドバイスを行い、相談者の安心した生活に結びつけた。

(1) 心配ごと相談 月2回 (年25回実施)

第2、第4火曜日午後1時30分から午後4時まで開催 年間2回(9月、3月)に全体会を実施。

相談員：民生委員児童委員3名、身体障害者相談員1名

月別実績

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
開催回数	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	25	2.1
月別件数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.2

相談内容

家族 1件 苦情 1件

栃木県芳賀町社会福祉協議会 心配ごと相談員との合同研修会(9月30日)

心配ごと相談事業の概要及び相談員について情報交換を行った。

参加者 芳賀町 心配ごと相談員12名、行政職員1名、社協職員1名

五霞町 心配ごと相談員4名、社協事務局長1名、社協職員2名

(2) 法律相談 月1回 (年12回実施)

毎月最終火曜日午前9時より開催

相談員：ボランティア弁護士

月別実績

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	0	1	3	3	3	3	5	2	3	1	1	3	28	2

4月は予約者無し

相談内容

金銭	3件	医療	1件	家庭・親族	4件
離婚	2件	事故	2件	人権・法律	1件
財産・相続	10件	苦情	1件	住宅	1件
その他	3件				



## 8. 生活福祉資金貸付事業

県社協からの委託事業。

低所得者等の資金対象に該当する世帯に、当該借入の申込があった資金の貸付を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図る。

平成27年度の貸付決定に至った実績

- ・ 貸付総額 0 円
- ・ 利用件数 0 件

各月に生活福祉資金の借入相談を受けた件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	1	0	0	2	2	0	1	2	3	1	0	7	19

《代表的な相談内容》

- (1) 失職に伴い収入が途絶え、家族の介護にも金が掛かり、貸付できないかという相談を受けた
- (2) 家庭内の不和から金銭的にひっ迫したという相談を受けた。
- (3) 失職に伴い手持ちの金が尽き、貸付、就職の相談を受けた

## 9. 介護職員初任者研修

地域の介護を担う人材を育成する目的で、県から許可をとり平成26年より開始  
社会福祉協議会の職員が講師となり、受講者に講義を行った。

平成28年2月1日開講式 ～ 3月28日 閉講式・修了 全36講座（実習2回含）  
講師 13名（社会福祉協議会職員）  
3名受講・修了 社会福祉協議会登録介護職員3名登録 平成26年度より累計6名修了

## [障害者自立支援事業拠点]

### 1. 地域活動支援センター事業

各利用者の障がいの程度及び能力に応じた活動として、大きく分けて生産活動、リサイクル活動及び施設外活動（季節外出行事・研修・父母会行事等）などを実施した。

生産活動では、従来どおり牛乳のパック製品、布製品などの制作活動及びそれらの販売活動を行った。販売は昨年度のひばりの里、道の駅店頭及びナイスハートバザールに、年3回の町役場での販売活動を加え、町民・職員から好評を得た。

リサイクル活動においては、施設内でアルミ缶のプレス作業及び梱包作業を実施し、スチール缶とペットボトルは洗浄作業終了後リサイクルセンターへの運搬作業も行った。

また、内職関係では、ひばりの里への清掃作業受託や喫茶ぽかぽかへの人材派遣、平日のひばりの里開館時には売店を設営し、住民等からも好評を得ることができ、同時にひばりの里の活性化へも大きく寄与した。

さらに、利用者の健康維持・体力増進を目的とした口腔ケア・気功教室・ラジオ体操・ウォーキングを実施したり、在宅生活での自立向上を目的とした生活訓練（食事準備）や入浴指導、掃除洗濯指導も行った。

父母会では、通常の行事支援（調理実習、健康福祉まつり、ふれあい祭等）だけではなく、各父母会会員や関係職員の知識教養を深めるため施設研修会や県主催研修会などにも積極的に参加を行った。

利用者 13名（療育手帳 9名・身障手帳 3名・精神保健福祉手帳 1名）

#### 会議等

事業関連会議・研修 56回 個人面談 13名

#### 活動内容

口腔ケア 11回 誕生会 7回 ナイスハートバザール兼ショッピング 2回  
(下妻市・つくば市)

節分会 1回 カラオケ 1回 遠足 1回

新年会兼初詣 1回 ひなまつり会 1回 施設見学 1回

役場販売 3回 気功教室 11回 生活訓練（調理） 12回

(7月・10月・2月)

お花見・作業参観・懇談会・納涼祭・施設交流（境町社協）・健康福祉まつり出店・障がい者の集い・収穫祭

五霞ふれあいまつり・ナイスハートフェスティバル水戸・クリスマス会・父母会忘年会・境特別支援学校地区PTA情報交換会

避難訓練

[受託事業拠点]

1. 地域ケアシステム推進事業

一人暮らしの高齢者や障害者、母子家庭等の方から日常生活で困っていることや悩んでいることの相談を受け、地域包括支援センターをはじめ医療、保健、福祉関係者と連携して問題の解決に努めた。必要であれば民生委員を中心に、近隣のボランティアの協力を得て在宅ケアチームを作り、みまもり等の支援を行った。年に数回、各行政区の民生委員と同行訪問するなどして、対象者の掘り起こしや啓発活動を行っている。

区 分	26年度末	本年度増	本年度減	27年度末
介護保険給付対象者	11	0	6	5
ひとり暮らし高齢者	56	7	5	58
その他の要援護高齢者	4	2	2	4
身体障害者	10	0	1	9
知的障害者	9	0	1	8
精神障害者	11	0	2	9
難病患者	1	1	0	2
子育て親	2	0	2	0
その他	6	2	3	5
計	110	12	22	100

相談件数（実人数） 29 件（25名）

会議

サービス調整会議 3 回 ケアチーム会議 9 回

研修

地域ケアシステムみまもり研修会 2 回

地域啓発活動

協力員だより「みまもり」 6 回 105 部（1回）

五霞町保健・福祉事業のお知らせ 1 回 400 部

みまもり研修会 参加者 30 名 2 回

民生委員児童委員同行訪問 60 回

行政区長訪問 事業説明と協力 依頼 15 回

いきいきサロン支援「ぽかぽか茶の間」支援 10 回

## 2. 福祉センター管理運営事業

町の地域福祉拠点として、地域の福祉情報発信の場としての機能を担う。  
指定管理者として、以下の業務を行う。

### ○ 維持管理経過記録

- 4月 停電検査、水槽水検査、地下タンク点検
- 6月 ボイラー点検、救命講習、配管修繕工事、柴又100Kマラソン給水所
- 7月 浴槽水水質検査（古河保健所）、消防設備点検、自家発電点検
- 8月 浴槽水質検査、受水槽水質検査
- 9月 館内定期清掃
- 10月 ボイラー点検、浴槽水水質検査
- 11月 防災倉庫設置、濾過機更新工事（11月30日～12月14日）
- 1月 浴槽水質検査、自家発電点検
- 2月 消防設備点検
- 3月 館内定期清掃、避難訓練及び消化訓練、消防設備点検、貯湯槽清掃

### ○ 通常業務

毎日

館内の見回り・目視点検（水道メーター、燃料油糧、風呂温度） 8：15～8：30

浴槽の塩素濃度の測定 浴槽水の塩素濃度の測定 1日3回男女浴槽 8：30、12：00、17：30

毎週月曜日

入浴料金の集計

浴槽水の交換、塩素投入による浴槽消毒

月1回

浴槽のしみ抜き、洗浄と清掃（2時間程度）

必要に応じて随時

屋上の落ち葉、雨どい掃除

長期休館時の見回り点検

年末年始は職員で当番制により実施

その他

蛍光灯の交換、のれんの交換、浴槽のシャワーホースの簡易な修理

○その他

7月 七夕飾り 10月 共同募金コーナー設置 12月 クリスマスイルミネーション  
 地域活動支援センターの父母会が、就労訓練を兼ねた売店を実施  
 営業日 火曜日～金曜日  
 営業時間 11:00～14:00

開館日数 306 日 (平成26年度 304 日)

利用状況

来館者数 37,582 名 昨年比 95.2% (平成26年度 39,486 名)  
 来館者のうち浴室利用者数 35,776 名 昨年比 95.6% (平成26年度 37,418 名)  
 団体利用件数 99 件 昨年比 100.0% (平成26年度 99 件)  
 シニアクラブ利用状況 1,588 名 昨年比 103.9% (平成26年度 1,528 名)

来館者数

(単位：名)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数(日)		26	27	25	25	26	26	27	25	24	24	24	27	306	
人数 (名)	町内	男性	1,337	1,336	1,234	1,331	1,208	1,177	1,368	1,222	600	1,167	1,204	1,358	14,542
		女性	980	985	936	933	797	795	916	846	464	803	849	986	10,290
		合計	2,317	2,321	2,170	2,264	2,005	1,972	2,284	2,068	1,064	1,970	2,053	2,344	24,832
町外	男性	734	713	637	621	791	616	753	731	331	750	678	728	8,083	
	女性	421	407	349	402	480	384	416	409	203	421	367	408	4,667	
	合計	1,155	1,120	986	1,023	1,271	1,000	1,169	1,140	534	1,171	1,045	1,136	12,750	
合計		3,472	3,441	3,156	3,287	3,276	2,972	3,453	3,208	1,598	3,141	3,098	3,480	37,582	

1日平均 123 名

来館者のうち浴室利用者

(単位：名)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数(日)		26	27	25	25	26	26	27	25	12	24	24	27	294	
人数 (名)	町内	男性	1,293	1,316	1,198	1,287	1,189	1,144	1,305	1,179	533	1,129	1,171	1,322	14,066
		女性	871	928	844	802	714	716	811	744	358	711	756	882	9,137
		合計	2,164	2,244	2,042	2,089	1,903	1,860	2,116	1,923	891	1,840	1,927	2,204	23,203
町外	男性	714	708	623	621	781	593	741	723	323	747	677	719	7,970	
	女性	417	401	343	396	478	379	416	407	202	412	356	396	4,603	
	合計	1,131	1,109	966	1,017	1,259	972	1,157	1,130	525	1,159	1,033	1,115	12,573	
合計		3,295	3,353	3,008	3,106	3,162	2,832	3,273	3,053	1,416	2,999	2,960	3,319	35,776	

1日平均 122 名

団体利用件数

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1・2	3	2	3	1	2	3	2	2	2	4	2	2	28
食堂	3	3	3	3	3	4	3	7	4	2	2	4	41
和室	1	0	0	2	2	0	1	0	0	1	0	0	7
相談室	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	13
その他			1	1	0	0	0	0	3	0	2	3	10
合計	8	6	8	8	8	8	8	10	10	8	7	10	99

シニアクラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クラブ数	10	9	11	13	12	10	12	12	13	13	12	12	139
人数	121	114	137	152	117	102	125	136	169	153	127	135	1,588

3. 在宅福祉サービスセンター事業

日頃から親切なサービスを念頭に置き、利用会員の利便性を主体的に考え、臨機応変に福祉サービスを提供することができるよう留意した。

関係機関（地域ケア、ケアマネジャー、地域包括支援センター、民生委員）との連携活動により利用会員に適切なサービスが提供出来た。

主要なサービスである外出等における送迎サービスにおいて、市町村運営有償運送等講習会を行い、協力会員を9名増員した。また事業打ち合わせを行い、事例等の意見交換を行う。

今後も町内の各福祉機関や関係者と融合しながら利用会員との親密なネットワークを続けていきたい。

利用状況一覧表

(単位：依頼件数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
通院介助	104	97	119	163	120	124	141	130	127	132	158	141	1,556	129.7
身の世話	37	40	49	50	35	41	46	36	44	41	43	40	502	41.8
園児送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外出・買い物	75	73	83	88	86	70	61	68	70	47	70	71	862	71.8
合計	216	210	251	301	241	235	248	234	241	220	271	252	2,920	243.3

市町村過疎地有償運送運転者講習会実施 8月3日 一般受講者 9名

協力会員 21名 (男性 7名 女性 14名) うち過疎地有償運送等講習会修了者 15名

利用会員 271名 (男性 77名 女性 194名) ※平成27年3月現在

#### 4. 日常生活自立支援事業

県社協から基幹的社協に指定され7年。各関連機関と連携し、県に問い合わせをしながら、業務の見直しを行う。今後も、地域ケアシステムや地域包括支援センター及び各福祉サービスと連携しながら、生活支援員とともに当事業を円滑に進めていきたい。

※現在の当町における実利用者の方(2件)

- A. 精神障がい者(1人暮らし)  
→ 日常的金銭管理サービスと通帳管理(書類等預かりサービス)及び生活上の相談や助言等
- B. 精神障がい者(1人暮らし)  
→ 日常的金銭管理サービスと通帳管理(書類等預かりサービス)及び生活上の相談や助言等

#### [介護保険事業拠点]

##### 1. 指定居宅介護支援事業

介護報酬の改定や「マイナンバー制度」導入後の申請方法などが変更となり、新しい情報を介護支援専門員として、利用者や家族に的確に伝えるように心がけた。

利用者人数においては、当初目標であるケアマネ1名が対応できる35人のマックスの目標数値を掲げ、利用者増に繋げることができた。

今後も、個人情報等の情報漏洩を遵守し対応する為にも「コンプライアンス」での法令遵守などの研修に積極的に参加し、中立公正なケアマネジメントが行えるように、必要な知識を習得し各介護支援専門員の資質の向上を図る。

また、様々な専門職域を超えた生活課題を総合的に把握し、課題解決に向けて保健・医療・介護・福祉など多職種協働によるチームケアを今後も目指していく。

会議

職員会議	52回	五霞町ふれあいネットワーク	3回
サービス担当者会議	317回	事務改善委員会	2回

研 修

介護サービス施設・事業所等管理者研修	1	回	漢方薬との上手な付き合い方	1	回
五霞町ケアマネジャー連絡会研修会	1	回	塩分の上手な付き合い方	1	回
茨城県ケアマネジャー協会平成27年度地域実践研修	1	回	訪問看護について	1	回
介護報酬改定説明会	2	回	薬について	1	回
認知症サポーター養成講座	1	回	認知症について	1	回
福祉サービス苦情解決研修会	1	回	介護保険のマイナンバーの取り扱いについて	1	回
平成27年度埼玉県介護福祉士会総会及び研修会	1	回	成年後見人制度について	1	回
古河さしまケアマネジャー研究会総会及び研修会	1	回	認知症疾患フォーラム	1	回
介護支援専門員 専門研修Ⅱ	1	名 (5日間)			

その他

普通救命講習	2	名	
介護相談	21	回 (相談 4)	

利用人数

利用者延べ人数	1,520 名	前年比	106.9%	(平成26年度 1,422 名 )
				(平成25年度 1,349 名 )

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	46	45	44	47	50	45	46	47	48	47	46	43	554	46
要介護2	38	37	43	43	43	47	44	44	44	50	53	51	537	45
要介護3	18	17	15	15	15	16	18	16	16	18	19	21	204	17
要介護4	10	10	9	7	8	9	10	11	12	13	14	14	127	11
要介護5	5	6	8	11	10	10	9	9	7	8	8	7	98	8
合計	117	115	119	123	126	127	127	127	127	136	140	136	1,520	127

## 2. 指定訪問介護事業

### (1) 指定訪問介護事業

訪問サービス利用者のニーズに応えられるよう、登録ヘルパーと共に技術・知識のスキル強化を図るため毎月サービス向上の研修を充実させたが周知できていないこともあるので、情報共有等スムーズに行えるよう努める。

誕生日プレゼントは利用者に大好評の為、工夫しながら今後も手作りのものを継続していく。

利用者宅への同一ヘルパー訪問が多くなってしまったので同行訪問を増やし、サービスのマンネリや偏りをなくすよう努める。

前年度より利用者数が減ってしまったので更なるサービスの向上と、新規利用者の獲得に努めていきたい

利用人数

利用者延べ人数 3,036 名 前年比 82.7% (平成26年度 3,671 名 )  
(平成25年度 3,351 名 )

利用状況 (延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	10	12	13	12	4	3	4	0	0	0	0	0	58	4.8
要支援2	38	39	40	41	39	44	43	46	43	46	37	38	494	41.2
要介護1	84	82	92	69	58	70	75	102	99	65	71	60	927	77.3
要介護2	20	63	77	109	103	93	30	16	19	16	87	37	670	55.8
要介護3	48	45	48	47	17	15	19	17	14	16	62	42	390	32.5
要介護4	3	4	2	4	0	5	11	11	10	21	87	108	266	22.2
要介護5	0	11	27	29	40	31	27	10	2	5	45	4	231	19.3
合計	203	256	299	311	261	261	209	202	187	169	389	289	3,036	243.2

### (2) 指定居宅介護事業

障がいのある方が住み慣れた生活が送れるように必要な時に適切なサービス提供が出来るよう支援体制の構築に努め、職員も随時研修を行い、さまざまな障がいに対応できるよう努めた。また、身体介助の利用も増えたので、今後も町の障がい者への支援に貢献していきたい。

利用者延べ人数 49 名 前年比 153.1% (平成26年度 32 名 )  
利用回数 1,681 回 前年比 158.7% (平成26年度 1,059 回 )

### 利用人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	3	4	4	5	5	5	4	4	4	3	4	4	49	4
利用回数	97	135	151	215	194	183	145	132	98	66	122	143	1,681	140
前年度回数	34	87	83	109	76	89	102	74	129	92	71	113	1,059	88
前年比	285%	155%	182%	197%	255%	206%	142%	178%	76%	72%	172%	127%	158.7%	158.7%

### (3) 障害者移動支援事業

障がいのある方に外出を通し、自らがすすんで社会活動や余暇活動に参加することで自立と社会参加を目指す意欲が持て、生活の質の向上へとつながった。

今年度は通学に伴う移動支援がなくなり利用数が減ってしまったが、今後も移動支援を通して生活環境の維持・向上に努めたサービス提供を続ける

### 利用人数

利用者延べ人数	14 名	前年比	66.7%	(平成26年度	21 名 )
利用回数	86 回	前年比	38.9%	(平成26年度	221 回 )

### 利用状況 (延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	1.2
利用回数	22	14	6	6	5	4	7	6	5	5	4	2	86	7.2
前年度回数	20	23	24	18	5	25	23	15	13	16	19	20	221	18.4
前年比	110%	61%	25%	33%	100%	16%	30%	40%	38%	31%	21%	10%	38.9%	38.9%

### (4) あったかサービス事業

高齢者や障がいのある方々が「住み慣れた地域で安定した生活を」継続し、生活できるように今後も各制度で補えない部分の自主事業としてさらなる拡大に努める。

利用者数は増えたが今後も事業の啓発活動に努めていきたい。

利用者延べ人数	18 名	昨年比	94.7%	(平成26年度	19 名 )
利用回数	128 回	昨年比	105.8%	(平成26年度	121 回 )

### 利用人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者人数	1	3	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	18	2
利用回数	9	33	9	9	11	7	9	9	9	7	8	8	128	11
前年度回数	8	9	9	9	8	9	9	8	22	7	8	15	121	10
前年比	113%	367%	100%	100%	138%	78%	100%	113%	41%	100%	100%	53%	105.8%	105.8%

### 3. 指定通所介護事業

利用人数や回数は増えており、利用者の口コミ等により実績は伸びているので、現状を維持できるよう今後も対応していく。  
食事内容においても、見た目などから食欲が増すように器での対応を定期的に行い、おやつに関しても手作り物を増やし、好評だった為、4月からも継続して行っていく。

レクリエーションに関しては、作り物を増やし、完成するまで、職員、利用者共に大変だができた時の達成感が得られ、相互に充実している。カラオケは徐々に歌う人が増え、新しい歌を覚えたりと利用者から好評価のため、職員も歌って聴かせる等の対応を行い喜ばれている。リハビリテーションに関しても理学療法士を採用したことにより、リハビリを希望していなかった利用者も行うようになったりといろいろな場面で良い結果に繋がっていますが、現状のサービス内容に満足せず、新しい物を今後も考え、利用者喜んでもらえるよう職員の知識や技術の向上を図り、対応していく。

#### 行 事

誕生会	49回	ショッピング	16回	食事会	13回
お花見	4回	おやつセレクト	53回	食事セレクト	27回
運動会	6回	手作りおやつ	6回		
納涼祭・敬老会・クリスマス会	12回	お寿司セレクト	6回		
圏央道ドライブ	5回				

#### 活 動

リハビリ	毎日	入浴デイ（振替利用）	2回
------	----	------------	----

#### 作り物（利用者作成）

お雛様作り、雪だるま作り、カレンダー、短冊作り、クリスマスリース作り、うちわ作成、絵馬作り、おかめ作り、提灯作り  
バラ飾り

レクリエーション

的当て、輪投げ、積立ゲーム、マネーゲーム、カルタ、絵合わせ、言葉作り、なぞなぞ、折り紙、トランプ、将棋、ダーツ  
 ビンゴ、モンスターボックス、玉入れ、カラオケ、すごろく、ちぎり絵、ボーリング、風船うちわ、じゃんけん合戦  
 風船バレー、ボール送り、わか回し、脳トレ、神経衰弱、間違い探し、靴飛ばし、ドキドキプーさん、物送りゲーム  
 計算、リズム体操、くじ引き、棒倒し、お料理ジャンケン、伝言ゲーム、カラオケ、ハンドボール、コップ落とし、ボール回し  
 キックターゲット、ストラックアウト、笑いヨガ、オセロタワー、サッカー、しりとり、何て読むクイズ、坊主めくり

ボランティア受け入れ

地域ボランティア 8名 14回 大正琴演奏、歌ボランティア  
 地域外ボランティア 9名 4回 ダンディーズバンド、踊り

研 修 等

事前調査（新規）	36件	体験利用	25件	給食会議	12回	
サービス担当者会議	104回	サービス向上の為の研修	20回	普通救命講習	1回	3人
避難訓練	1回	デイサービス避難訓練	1回	グループ討議	10回	
施設内研修	32回	外研修	2回	シルバーミーティング	4回	

利用人数

利用者延べ人数 6,759名 昨年比 127.2% (平成26年度 5,314名)  
 (平成25年度 4,971名)

利用状況（延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	20	17	21	22	16	24	28	27	19	23	9	5	231	19.3
要支援2	65	70	77	70	77	61	77	77	80	89	103	125	971	80.9
要介護1	190	189	174	208	186	211	219	185	215	172	170	191	2,310	192.5
要介護2	116	122	153	176	164	179	188	160	161	157	171	181	1,928	160.7
要介護3	61	58	61	57	57	59	75	60	38	59	56	73	714	59.5
要介護4	10	19	21	23	28	29	33	28	24	26	32	43	316	26.3
要介護5	0	15	22	32	32	33	32	22	15	12	34	40	289	24.1
合計	462	490	529	588	560	596	652	559	552	538	575	658	6,759	563.3

#### 4. 地域包括支援センター事業

地域に住む高齢者の総合的な相談窓口として、保健・医療・福祉等の様々な機関と連携し、相談等に対応した。

要支援認定者に対しては、本人や家族の意向を聞き、要介護状態にならないような介護予防ケアプランを作成し、中立公正な立場で、自立した生活が継続できるように介護予防ケアマネジメントを行った。

一次予防事業では、一年間を通して全行政区に出向き、「元気はつらつ倶楽部」を開催、二次予防事業では、基本チェックリストによる実態把握調査を実施、介護予防対象者を抽出し、「元気あっぷ教室」「びんしゃん教室」を開催した。地域の交流の場として、継続した運動を行い、駐在所、保健師、シルバーリハビリ指導士、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士などと連携し、健康増進・介護予防に努めた。

認知症サポーター養成講座、家族介護教室（成年後見制度）、高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会を開催し、高齢者の権利擁護について、理解を深めた。

町内の居宅介護支援事業所や施設のケアマネジャー、サービス事業所に対して、五霞町ケアマネジャー連絡会議にて、介護保険やマイナンバーの取り扱いに関する研修を行い、個々のケアマネジャーに対しても個別に支援を行った。

健康福祉課と五霞町生活支援体制整備研究会を開催し、平成28年度から始まる地域支援事業に向けてスムーズに移行できるように、協議・連携を図った。

#### 会 議

五霞町高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会	2回	地域ケアシステム推進事業と合同ミーティング	12回
地域ケアシステムサービス調整会議	3回	職員会議	12回
五霞町ケアマネジャー連絡会議	2回	認知症疾患連携協議会	3回
地域包括支援センター運営協議会	1回	医療と介護の連携体制を構築するための意見交換会	2回
茨城県社協職員連絡協議会	3回	県西地域における関連機関との連絡協議会	2回
管内市町村介護予防担当者会議	1回	地域包括ケアについての話し合い	1回
介護予防・日常生活支援総合事業について話し合い	1回	五霞町地域支え合い協議体	2回

#### 研 修

地域包括支援センター初任者研修	2回	茨城県ケアマネジャー協会実践研修	1回
地域包括支援センター現任者研修	1回	救急救命講習会	1回
生活支援コーディネーター養成研修	2回	福祉サービス苦情解決研修会	1回
生活支援体制整備事業研究会	6回	介護サービス施設事業所等管理者研修会	1回
雇用管理責任者講習	1回	市町村認知症担当者研修会	1回
地域づくりにおける協議体・生活支援コーディネーターの役割	1回	会計研修	1回
認知症疾患フォーラム	1回	認知症介護アドバイザー(キャラバンメイト)養成研修	1回
マイナンバー研修	2回	有償サービス協力会員・地域ケア合同研修会	1回
市町村介護予防事業担当者研修	1回	茨城県福祉大会	1回
茨城県地域介護ヘルパー養成事業推進講演会	1回		

その他  
避難訓練

1回

広報（介護予防事業についての啓発を記載）  
社協旬報（4・6・8・10・12・2月号）  
「介護予防元気体操」ポスター全戸配布

6回  
1回

社協だより（7・3月号）  
地域ケア協力員だより「みまもり」（4・7・12月号）

2回  
3回

### (1) 介護予防事業

#### 二次予防事業対象者把握事業

7行政区（山王山・山王・江川・幸主・冬木・両新田・原宿台）の高齢者（65歳以上）に基本チェックリストを郵送・回収し、二次予防事業対象者を抽出（介護認定者は除く）

配布者数	954名	回収率	
回収者数	757名	昨年比	100.0%
訪問や電話等で確認	197名	計	954名
回収+確認率	100%		

（平成26年度）

8行政区（元栗橋・土与部・堀之内・新幸谷・川妻・小手指・小福田・大福田）の高齢者（65歳以上）に基本チェックリストを郵送・回収し、二次予防事業対象者を抽出（介護認定者は除く）

配布者数	1028名		
回収者数	796名		
訪問や電話等で確認	232名	計	1028名
回収+確認率	100%		

#### 一次予防事業

元気はつらつ倶楽部  
（合計）

開催回数	295回	昨年比	117.1%
参加者数（実人数）	276名	昨年比	116.0%
参加者数（延べ人数）	2281名	昨年比	103.7%

（平成26年度）

（合計）

開催回数	252回
参加者数（実人数）	238名
参加者数（延べ人数）	2200名

## 二次予防事業

対象者数（実人数）	177名	昨年比	88.1%
対象者数（延べ人数）	419名	昨年比	85.9%

内訳（重複あり）			
運動器の機能向上	114名	昨年比	82.0%
栄養改善	8名	昨年比	88.9%
口腔機能の向上	102名	昨年比	108.5%
閉じこもり予防・支援	27名	昨年比	56.3%
認知機能の低下予防・支援	88名	昨年比	82.2%
うつ予防・支援	80名	昨年比	87.9%

## 通所介護予防事業

参加者数（実人数）	21名	昨年比	95.5%
参加者数（延べ人数）	27名	昨年比	103.8%

内訳（重複あり）			
運動機能向上「元気あっぷ教室」			
9～11月 6回	9名／回	昨年比	112.5%
12～2月 6回	8名／回	昨年比	100.0%
栄養改善、口腔機能向上、認知症・閉じこもり・うつ予防「ぴんしゃん教室」			
9～2月 13回	10名／回	昨年比	100.0%

（平成26年度）

対象者数（実人数）	201名
対象者数（延べ人数）	488名

内訳（重複あり）	
運動器の機能向上	139名
栄養改善	9名
口腔機能の向上	94名
閉じこもり予防・支援	48名
認知機能の低下予防・支援	107名
うつ予防・支援	91名

（平成26年度）

参加者数（実人数）	22名
参加者数（延べ人数）	26名

内訳（重複あり）	
運動機能向上「元気あっぷ教室」	
9～11月 6回	8名／回
12～2月 6回	8名／回
栄養改善、口腔機能向上、認知症・閉じこもり・うつ予防「ぴんしゃん教室」	
9～2月 14回	10名／回

## (2) 包括的支援事業

### 介護予防ケアマネジメント事業

利用人数

利用者延べ人数	642 名	昨年比	107.2%	(平成26年度	599 名)
サービス担当者会議	84 回	昨年比	77.1%	(平成26年度	109 回)

利用状況 (延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	16	15	16	16	16	17	18	17	17	15	13	9	185	15
要支援2	41	42	41	37	34	33	37	37	37	37	40	41	457	38
合計	57	57	57	53	50	50	55	54	54	52	53	50	642	54

### 総合相談支援事業

利用状況 (実人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
訪問	3	7	9	3	5	4	4	1	6	3	8	5	58	5
電話	1	4	5	3	1	3	2	3	5	7	5	4	43	4
来所	1	3	4	3	4	4	3	5	1	1	3	2	34	3
合計	5	14	18	9	10	11	9	9	12	11	16	11	135	11

### 認知症施策の推進

認知症サポーター養成講座	9月	2日	6名 (実人数)	五霞町社会福祉協議会職員研修として 見守り協力員・有償サービス会員研修として いきいきサロンぽかぽか茶の間・講習として 役場職員研修に協力 (参加者16名)
	11月	6日	2名 (実人数)	
	12月	1日	15名 (実人数)	
	3月	18日		
		合計	23名 (実人数)	

### 健康福祉まつり

9月 20日 33名 (実人数)  
古河赤十字病院 認知症疾患医療センターと連携し、精神保健福祉士による啓発と簡易ものわすれ検査実施

### 任意事業

家族介護教室 12月7日 1回 48名 (実人数) 「成年後見制度について」

## [その他特記事項]

### 1. 災害ボランティアセンター職員派遣

平成27年9月9日（水）から11日（金）にかけて、台風18号発生に伴う関東・東北豪雨により県内（特に県西地区を中心）に多くの被害が発生。

茨城県社会福祉協議会からの要請を受け、9月15日より、特に被害の甚大であった常総市への職員の派遣を行う。

全国各地から来ていただくボランティアの受入れ業務

11月16日からは地域支え合いセンターとして、ボランティアと生活の困りごとの相談を受け付ける。

月	9月 (15日～30日)	10月	11月	合計
派遣日数（日）	13	31	18	62
派遣延人数（名）	36	62	36	134

派遣職員数 合計24名 1名あたり平均5.6回派遣

内容 9月15日～11月15日

- 受付・・・ボランティアの受付、誘導
- 車両・・・ボランティアが活動地へ行くための輸送車両の手配
- 誘導・・・ボランティアの駐車場及び災害ボランティアセンター入り口の対応
- 団体受入・・・団体は直接活動地へバス等で乗り入れるため、その場での受付、マッチング等

11月16日～11月30日

- 訪問班・・・2名一組にて、実際に被害のあった地域を、区域を分けて1件1件訪問する。  
ボランティアニーズや、福祉的援助の必要性を調査する。

### 2. 被災地ボランティア活動

平成27年10月4日（日）常総市でのボランティア活動への業務

健康福祉まつりでの代表者等の話し合いを受け、参加する各団体へ呼びかけ。被災地での活動を行う。

参加団体 11団体

参加人数 46名（ボランティア28名・五霞町役場9名・社会福祉協議会9名）

※他、運転手2名（五霞町役場1名、社会福祉協議会1名）